



「広島・原爆ドーム」 撮影 丹家医院 丹家 聖仁



毎年恒例!

支部バスツアー
5月29日(日)開催決定!

二条城をゆっくり見学
和菓子作り体験

ご家族、スタッフの皆さんも
今からご予約ください

県立加古川医療センター見学会

“これからの病院” 考えさせられた



院内を見学する参加者

明石支部は2月17日、県立加古川医療センター見学会を開催。医師や医療機関スタッフら20人が参加した。参加者の感想文を紹介する。

加古川医療センターの見学会は、大変興味深いものがあり参加させていただきました。

説明会前にも、エントランスの状況、いすの並び、自動支払機、ブロッック

ごとの受付など、待ち時間対策や外来の混雑をうまくコントロールする方がとられていて、そのことを見ることができました。

千原院長の話の中で、病院の設立の経緯や役割、特徴を聞かせていただき、

「これからの病院」というものを感じられた部分がありました。今までの病院は治療が主体ですが、

加古川医療センターでは療養環境についても、千原院長から説明の言葉を聞くことができました。看護職から

このような話を聞くことはあっても、医師から聞くことはなかったように思います。病室の環境、自然環境への配慮、災害御への備えなど、本当にこれからの病院の環境の大切な部分だと感じます。

加古川医療センターの最大の特徴は、緩和ケア病棟であり、二次救急だと思われず、

当院から加古川医療センターへ転送する患者のケースもありますが、救急センターに空床がないという問題がたびたび発生しているように感じます。もう少し、現状での救急部の問題や状況を聞くことができました。よかったです。

病院内の見学の時間が短くなり、病室やアメニティーが十分に見ることができず残念でした。しかし、このような体制の整った素晴らしい病院見学の機会をいただき、兵庫県民の一人としても大変よかったです。

【大久保病院・矢野尾ひとみ】

兵庫 庫医協 会



No. 248
2011・3・15

投稿歓迎!

兵庫県保険医協会明石支部

支部長 吉岡 巖
神戸市中央区海岸通一丁目二番三十一号
神戸フコク生命海岸通ビル五階

TEL 078-3393-1800(代)
FAX 078-3393-1802

市民シンポジウム
みんなが知らないタバコの害
 ～歯科からの発信～

4月17日 日

時間 14:00~16:00 (13:30開場)
 終了後「歯の健康」無料相談会を開催します。
 何でもお気軽にご相談ください

会場 兵庫県保険医協会5階会議室
 (神戸フコク生命海岸通ビル)

保険でより良い歯科医療

主催/「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会
 共催/兵庫県保険医協会、兵庫県民主医療機関連合会
 協賛/兵庫県歯科技工士会 後援/神戸新聞社

タバコがさまざまな病気を引き起こすことは、みなさんよくご存知のとおりです。では、タバコがお口の健康にどんな影響をおよぼすか、ご存知でしょうか？歯を失う理由の半分は歯周病です。歯周病は細菌が原因の病気ですが、タバコは歯周病を悪化させる最大のリスク因子と言われています。タバコは歯周病の発生率を2.7倍にし、歯の寿命を10年縮めるのです。お口の中は、タバコの影響を実際に目で見る事ができる唯一の場所です。喫煙で起きた変化も、禁煙で起きた変化も、お口の中なら見ることができます。喫煙者と、非喫煙者のお口の写真を見比べてみましょう。タバコを吸っていた人が禁煙した後のお口の中の変化も誰の目にも明らかです。お口の健康を取り戻すには禁煙がとても効果がありますが、禁煙はつらく苦しいもの、と思いませんか？さまざまな薬剤によって、禁煙はつらく苦しいものではなく、つづつあります。喫煙習慣はニコチン依存症という「病気」であると認識し、わたしたち医療者とともに、「治療」として禁煙にチャレンジしてみましょう。禁煙治療が保険適用になり、新薬の開発によって禁煙成功率は85%と飛躍的に高まっています。禁煙を考えている市民の皆さん、ぜひご参加ください。

お話し

「明らかになったタバコの正体と新しいニコチン依存症治療」

長田区・福井クリニック院長 福井俊彦先生

「お口の中で見てみよう！タバコの影響、禁煙の効果」

東灘区・たかぎ歯科医院院長 高木景子先生

コーディネーター 神戸常盤大学短期大学部教授 足立了平先生

市民シンポジウム「みんなが知らないタバコの害 ～歯科からの発信～」

参加します ()人

電話番号

お名前

所属等
 ありましたら
 ご記入ください

参加確認のため **FAX 078-393-1802** までご返信ください

主催 「保険でより良い歯科医療を」兵庫連絡会

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31 神戸フコク生命海岸通ビル5F 兵庫県保険医協会 TEL. 078-393-1809 FAX. 078-393-1802 mail. shin-ok@doc-net.or.jp

県民間病院協会と懇談 消費税「損税」病院経営を圧迫



(手前左から反時計回りに) 吉田耕三県民間病院協会会長、吉田静雄副会長、吉岡正雄協会副理事長、吉岡巖副理事長

協会は12月10日、県医師会館で兵庫県民間病院協会と、医療機関の消費税「損税」問題などについて懇談した。協会から吉岡正雄副理事長・税務経営部長とともに、明石支部の吉岡巖支部長が出席。兵庫県民間病院協会は実際に原告となっ

ている医療法人の理事長でもある吉田耕造会長(吉田病院理事長)、吉田静雄副会長(尼崎中央病院理事長)が応対した。現行の消費税制度は診療報酬が非課税のため、医療機関の仕入れにかかる消費税支出を他に

転嫁できない「損税」が発生している。兵庫県民間病院協会の四つの会員の医療法人は昨年9月28日に、医療機関の消費税損税は不当だとし、国を相手取り、原

吉田静雄副会長は兵庫県民間病院協会のアンケート結果をもとに、消費税損税が一病院3千万円から7千万円に及んでおり、平均で利益の34・2%を占めることになると指摘。「多くの病院で大きな設備投資を控えるようになってい

る」と、国民医療への影響に懸念を示した。また「消費税という言葉は誤解を招くので、ヨーロッパの国のように多段階税制を表す付加価値税と名前を変更すればもっと理解が深まると考える」とも指摘。訴訟について、強力な弁護団を組織していることなどを紹介し、「各地で同様の提訴を起こし国にアピールしてほしい」と述べた。保険医協会の吉岡巖副理事長は、レセプトオンライン義務化撤回を勝ち取った保団連の訴訟の意義などを紹介し、激励した。

吉岡正雄副理事長・税経部長は「私たちは反対しているが、今は消費税増税の流れが大きい。このまま増税されれば医療機関は存続できなくなる。できる限り協力したい」と締めくくった。